

国際協力 風の会 東京



2006年度 年間事業報告書

設立趣意書

すべての子どもたちが
未来への希望をもてる社会が理想です

しかし
世界には 明日さえ定かでなく
今も泣き 飢え 死んでいく子どもたちがいるのです

私たちはそれをずっと知っていました

しかし
私たちは何かをしようとはしませんでした

それは 私たちが 自らの可能性を信じず
理想を持っていなかったといえるのです

ここで 私たちは思いを新たに誓います

たとえ小さくとも
私たちの確かな情熱と愛が
子どもに希望の明かりを燈し
未来への扉を開く追い風となることを確信します

そしてここに
国際協力行動隊「風の会」の設立を宣言します

ご あ い さ つ



国際協力 風の会 東京

代表 成清洸太

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご挨拶ということで、僭越ながら少々私自身のことを述べさせていただきます。‘国際協力’という言葉に憧れて、大きなことをやりたくて叩いた風の会の扉。私自身の活動も三年目を迎えました。

振り返ってみると、私がこの活動を通して教えてもらったことは、身近な人を強く想うことの大きさ、自分がやると決めたことに対する誠実さ、という一見‘国際協力’という言葉とは繋がりそうもないことでした。

日ごろの皆様の温かいご支援を賜り私が叩き続けた扉は、今も国内のメンバーの様々な想いと、遠くカンボジアの子ども達の間をやさしく繋げています。また、その活動は、日本の中学生、様々な機会に出会った多くの人々へ、新たな風を巻き起こし続けています。

最後に、この報告書が皆様の当会の活動の理解に役立つことを願ってやみません。

2006年度の活動 2007年度の計画

事業局長 真辺祐子

2006年度をふりかえって

国内での活動は、プロジェクトを主体としてそれぞれが充実した活動をしてきました。チャリティーコンサートの成功、出張授業をかつてないほど多く中学校で行ったことに代表されます。それ以外にも会員が主体的に発案したプロジェクト、各種イベントへの参加、協力を行ってまいりました。

また国際事業では、支援活動方針を策定し、保母兼現地スタッフの雇用など新支援の計画、新たな孤児院への訪問を行いました。このような支援団体としての前進の反面、06年度をふりかえるに当たっては、ワークキャンプ準備過程の失敗に触れざるを得ません。結果、特異な形で派遣された夏期のワークキャンプでは、例年通り子ども達との繋がりを実感し、支援にとって必要な情報を得ることができました。

そしてその一連の過程を通して、会内においても「会がどうあるべきか」といった方向性の議論、組織運営などに努めてまいりました。国際協力団体としてこれから改善すべき点は多くあると思っております。

2007年度をむかえて

会内では会に十分な基盤を作ることを主眼におき、これまで通り充実した国内活動、よりよい広報活動を目指します。

また、支援先の孤児院も変化の時を迎えており、私達にも支援の変化が求められています。これまで行ってきた支援の集大成と言える年を迎え、新たな支援の計画も必要になります。

私達の目指す子ども達の自立を成し遂げられるような、顔の見える支援を実現できるよう会員一同努力をしてまいります。

2006 年度活動ハイライト

5月 Let's ちょっと chat!に参加

静岡県立大学の NGO あおいの主催する静岡のイベントに参加しました。当日は会に関する展示や物品の販売を行いました。

8 / 26 ~ 9 / 8 2006 年度夏ワークキャンプ派遣



現地では、孤児院スタッフとの会議、情報収集、子ども達との交流、物資支援などを行いました。

また、今年度はノリア孤児院の引越し

先の視察、カンボジア・プノンペンにある孤児院の CPCDO への訪問も行いました。

9月30日 グローバルフェスタに出展

11月3日 早稲田祭に出展

たくさんの方が訪れる早稲田祭では、私たちのブースにも多くの方に来ていただくことができました。夏 WC 報告会、カンボジアで購入した物品の販売、会の紹介・子どもたちの写真などの展示を行い、有意義な会の広報活動となりました。

11月10日 高島第三中学校でビデオレター報告会

風の会と以前から親交のある高島第三中ではたびたび出張授業を行っています。中学生の皆さんのカンボジアの子ども達へのビデオレターを無事届けてきたことを報告しました。中学生の皆さんが真剣に話を聞いてくれる姿がとても嬉しいです。

11月26日 学生四団体交流会を開催

12月16日 チャリティーコンサート『風唄～明日の笑顔のために～』開催

多くの協賛、後援、そして何より出演してくださったアーティストの暖かなお力添えにより、当日は多くのお客様にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。改めて自分たちの活動が多くの人に支えていただいているものだと感じ身の引き締まる思いです。コンサートで得られた収益金はカンボジアの子ども達のために使わせていただきます。このコンサートに関わっていただいたたくさんの方々、本当にありがとうございました。

2月21日 新潟県上越市立板倉中学校で出張国際協力授業

初めて東京近郊以外で出張授業を行いました。風の会メンバーも張り切って準備を進めてまいりました。授業内容も定番のものに加え、ワークショップを取り入れるなど試行錯誤して作りました。そして当日は、生徒のみなさんと楽しい時間を過ごすことができました。これからも積極的に国際理解教育授業を行っていきます。

[2006年度の活動報告]

カンボジアの子ども達と中学生のビデオレター交換

6月16日 東京都板橋区立高島第三中学校で授業実施

国際協力を身近に感じてもらう、カンボジアの子ども達と日本の中学生がお互いに元気を与え合う、という目的のもと、この日中学校でビデオレターが撮影された。

その二ヶ月半後、カンボジアのノリア孤児院(現 Hope Of Children Center)でビデオレターを上映した。子ども達はビデオを楽しみ、日本の中学生からの千羽鶴や絵を受け取った。また、お礼としてカンボジアの子ども達から高島第三中の皆さんへのビデオレターを撮影した。

11月10日 高島第三中学校でビデオレター交換の報告会

この日はカンボジアで撮影されたメッセージを上映し、報告会を実施した。生徒の皆さんは実際の子ども達の映像、また子ども達の英語力に見入っている様子だった。上映後は「ノリアに何が必要か?」「自分に何ができるか?」というテーマでグループディスカッションを行い、意見を交換した。

中学校よりカンボジアの子ども達へ物資寄贈

7月 東京都奥多摩町立古里中学校より物資支援

昨年度授業をさせていただいた古里中学校のみなさんに、子ども達への物資募集の壁新聞の掲示、プリントの配布を行った。そして、石鹸、カラーペン、鉛筆を支援していただき、夏ワークキャンプにてその物資をカンボジアへ届けた。10月にはお礼の壁新聞を掲示した。

2月 東京都板橋区立第一中学校より物資支援

12月の出張授業の数日後、物資支援活動をしていただけると連絡を受けた。2月19日、朝礼にて物資贈呈式が行われた。石鹸197個、鉛筆1215本、消しゴム54個を集め、支援していただいた。集められた物資は2007年4月26日より行われた現地派遣にてカンボジアへ届けられた。

わたしたちの授業プログラム 世界がもし100人の村だったら

12月1日 東京都板橋区立第一中学校で授業実施



「いろんな国際協力」というコンセプトでカンボジアや風の会の活動紹介を取り入れた。最後に身の回りで行われている国際協力活動紹介をした。

2月21日 新潟県上越市立板倉中学校で授業実施



初の新潟での授業。

3月12日 東京都北区立稲付中学校で授業実施

卒業式を数日後に控えた3年生97名を対象に授業を実施。「高校に行ってから私たちに何ができるか?」というグループディスカッションを行ったり、身近な国際問題について話し合ったり、和気藹々とした時間を過ごすことができた。

国内事業 チャリティーコンサートプロジェクト

音楽を通して支援活動を伝える

[2006年度の活動報告]

12月16日(土)、カメリアプラザ(江東区亀戸文化センター)カメリアホールにて、『カンボジアの子どもたちに送るチャリティーコンサート 風唄 ～明日の笑顔のために～』が開催された。(詳細な報告は次頁参照。)

学生でーから作るコンサート

コンサート開催は多くの方のご協力に支えられています。今年度も、開催にあたり暖かいお力添えをいただき、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでした。やっと向かえた当日。風の会メンバーが準備をしている様子です。

会場の準備



本番前のプロジェクトメンバー



舞台袖で



プロのアーティスト方の演奏

今年度は、さまざまなジャンルの曲をこなす二組のアーティストをお招きしました。

思わず聞き入ってしまう渾身のステージ



ハシケン of 演奏



南め風人まーちゃんの演奏



全員でセッション

私たちの活動、さらにはカンボジア、国際協力活動のことを知ってもらいたい

コンサートにおいて支援に必要なお金を集めることはもちろん大切ですが、私たちの活動を知っていただくことも大きな意味のひとつです。展示やコンサート中の映像にその思いを込めます。会の活動やカンボジアのことに少しでも興味をもっていただけたら幸いです。



休憩やコンサート前後の展示スペース



会の活動の紹介

こうしてコンサートは盛況のうちに幕を閉じました。コンサートで得た収益金は責任を持ってカンボジアの子ども達のために使わせていただきます。ご来場ありがとうございました。

2006 年度チャリティーコンサート事業報告



【事業概要】

事業名：『カンボジアの子どもたちに送るチャリティーコンサート 風唄 ～明日の笑顔のために～』

出演：(第一部) ハシケン

(第二部) 南ぬ風人まーちゃんバンド、南ぬ風人まーちゃん(唄・三線)

開催日：2006年12月16日(土)

場所：カメラプラザ(江東区亀戸文化センター)カメラホール

主催：国際協力 風の会 東京

協賛：(敬称略)Boading House 東京 STAY、ホットヨガスタジオ ReU、和泉ストアー、和泉明店街 沖縄タウン、大橋青果、おきなわ 宮古島市場、亀戸天神通り商店街、サンケイスーパー、三線とるるんてん、ジュリアンペーカリー、シンガポール料理大地之木、スズトミ、ステーキ巴里食堂、ピアキッチン ラゲー、福地写真館、ヘアサロン泉、味噌の丸定、ROSE KRIS

後援：早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)

在日カンボジア王国大使館

国際協力 NGO センター(JANIC)

朝日新聞厚生文化事業団

毎日新聞社会事業団

協力：映像作成・・・早稲田大学広告研究会

照明・・・Hikari Honpo

音響・・・まーちゃんバンド

スタッフ・・・風の会 関東、風人ネットワーク

【集客報告】

総来場者数：273人

【会計報告】

事業経費：473,212 円

総収入：724,875 円

内訳 チケット売り上げ 633,500 円

募金 40,375 円

協賛 29,000 円

寄付金 22,000 円

純利益：251,663 円

国内事業 絵本プロジェクト 子ども達に絵本を届ける

[2006年12月～2007年3月]

英文に触れる機会を提供し、学びの意欲を刺激する、子ども達に絵本の世界を楽しんでもらう、手作りの絵本を通してメンバーと子ども達に繋がりを感じてもらう、という目的のもと手作りの絵本を作成した。

作成した絵本の紹介

”World Children's Stories ”

世界の童話・昔話を英語で紹介。大きなカブ、三匹のクマ、美女と野獣、ブレーメンの音楽隊など。

”Hide-and-Seek ”

かくれんぼをテーマとした布絵本。英語の読めない小さい子でも十分楽しめるものを目指した。

英語版 日本紹介本

日本の四季をテーマにしたアルバム形式の簡単な絵本

“カラー版 指差し会話帳”



左上 指差し会話帳、左下 World Children's Stories 、
右上 Hide-and-Seek 、右下 日本紹介本

これらの作成絵本は、市販の絵本とともに2007年夏にカンボジアに届けられる予定である。

国内授業 その他の活動 様々なイベントに、出展・参加

Let's ちょっと chat! (5月20日) 出展

Asian Heal Jam(5月28日) 協力団体として出展

風の会 関東写真展(7月22日、23日)

グローバルフェスタ(9月30日) 出展

早稲田祭(11月4日) 出展

学生四団体交流会(11月26日)

国際事業 支援のビジョンと支援活動方針

ビジョン

私たち国際協力 風の会 東京は、カンボジアにおける支援先の子どもたちが、自発的に経済的自立(1)を実現するための一助となる協力活動を行います。

1 「経済的自立」とは:

対象の個人が、自らの経済的基盤に基づいて、生活を営める状態を指しています。

支援活動方針

当会は、趣意書・ビジョンに基づき、以下の方針のもと、支援活動を行います。

1. 支援先の子どもたちが中等教育(2)までを受けられる環境作り
2. 支援先の子どもたちの経済的自立をサポートする英語教育の提供

2 「中等教育」とした理由:

当会は、支援先の子どもたちに対する‘協力’活動を趣旨とし、彼らが経済的自立を実現していく上で、の自主性を尊重するため、中等教育までの支援活動を方針とします。中等教育まで受けさせることは、彼らの自主性を時期(年齢)的にも、知識・情報の面で補助します。

* 趣意書についてはp.1参照

上記のビジョン・支援活動方針に沿って支援をしております。

例えば、子ども達の生活環境改善・精神的ケアのために、「保母兼現地スタッフ雇用」の計画が考えられました。2006年度夏ワークキャンプでは、実際に保母さんの雇用面接を行いました。今後、支援先の状況との兼ね合いをみて、実施に向けて動いていきたいと考えています。また、この支援活動方針は、三年ごとに見直しを行います。

国際事業 ワークキャンプ

子ども達との交流、現地での情報収集・会議、物資支援

[実施概要] 期間: 8月26～9月8日、派遣人数: 16名

[交流企画報告]

異文化理解 **目標** 学習の楽しさと発見の喜びをおしえる

- * 英語教育: プラカードを使って英単語のレクチャーをして、それを使って Simon says というゲームを行う
- * 日本語教育: プラカードを使って単語と簡単なあいさつ、日本の文化(お餅、富士山など)のレクチャーを行い、グループに分かれてかるたをした。
- * 日本文化紹介: 子ども達の名前の当て字が漢字で書いてあるうちわに自由に装飾してもらい、その後盆踊りをした



英語教育「nose!」



うちわ作り



盆踊り

交流 **目標** 子ども達と風の会メンバーが思いっきり触れ合い、楽しむ

- * 楽器作り、合奏: 簡単な楽器を作り、「幸せなら手をたたこう」を演奏
 - * お餅: 日本からお餅、しょうゆ、きな粉などを持っていき、日本の味を体験してもらった
- 劇 **目標** 子ども達に楽しんでもらう
- * 題目『金のガチョウ』 小さな子ども達にもわかるようにクメール語訳したテープを使用

贈り物 **目標** 形に残るものを送ることで繋がりを実感してもらう

- * お守り * 写真アルバム * 風の会メンバー紹介冊子 * 日本にいるメンバーのビデオレターを贈った。

遠足

恒例となっている遠足は、普段めったに孤児院の外に出ることのない子ども達はとても楽しみにしている行事。

移動車内

水遊び

みんなで



その他の企画

歓迎会、お別れ会、NEP卒業式など様々に実施した。

以上とは別に生活物資支援(次頁参照)、生活状況や英語教育に関する情報収集を実施した。

子ども達がお見送り



支援物資を渡す様子



[物資支援報告]

支援物資一覧

日本で収集した物資

品名	数量
鉛筆	328本
カラーボールペン	14本
定規	5本
シャープペン	8本
カラーサインペン	220本
蛍光ペン	12本
黒ボールペン	82本
クレヨン	14箱
クーピー	1箱
色鉛筆	2箱
ノート	14冊
下敷き	2枚
メモ帳	5冊
折り紙	1セット
歯ブラシ	100本
石けん	19個
巾着袋	2枚
Tシャツ	59枚
タンクトップ	4枚
ハンカチ	10枚
ミニタオル	4枚
スカート	2着
長ズボン	2着
ハーフパンツ	2着
半ズボン	1着
タオル	33枚
バスタオル	3枚
サッカーボール	1個
バレーボール	1個
バスケットボール	1個
ドッジボール	1個
テニスボール	6個

現地購入物資(ノリア孤児院用)

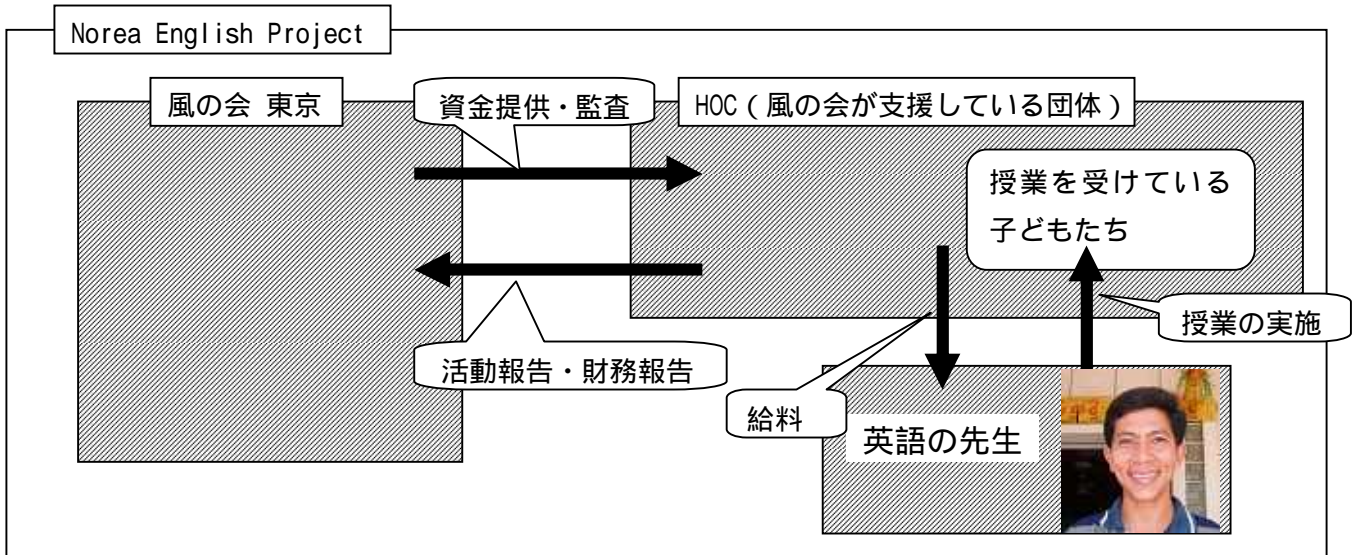
品目	数量	価格(\$)
包丁	3丁	3
体重計	1台	12
生理用品	3パック	14
下着	18枚	18
制服(上下)	144着	242.3
鉛筆	200本	4
ノート	100冊	9
定規	50本	3
消しゴム	80個	2
修正液	20本	5
ペン	100本	6
虫下し	80錠	20
傷薬	1200ml	7.5
腹痛役	600錠	22
風邪薬	1600錠	48
下痢止め	1500錠	25.5
ビタミン剤	100錠	48

現地購入物資(CPCDO用)

品目	数量	価格(\$)
鉛筆	200本	4
ノート	400冊	62.5
定規	50本	3
消しゴム	128個	3.5
修正液	50本	12
ペン	100本	6

ご協力ありがとうございました。

[事業概略]



[事業報告]

NEP Class1の事業期間の終了

* Class 1 概要:

対象: 孤児院の年長の女の子 6名

期間: 2002年6月～2006年8月の4年間



写真: Class1卒業式にて

Class2の事業期間は継続中

* Class 2 概要:

対象: 中学生 1、2年生 (2005年9月時点) の男女 10名、

現在は新たに孤児院に入った子どもも含む 13名

期間: 2005年9月～

2007年8月に契約の続行見直しを行う



写真: 支援した教科書を手に

[2006年度の活動報告]

今年度は、Class1の事業総括、下記にあるプロジェクトゴールの具体化を実施した。また、レポート監査体制の見直し・改善、子ども達全員との手紙のやり取りにも力を入れた。

[プロジェクト目的・ゴール]

職業獲得の際にその一助となるような英語教育を提供する。

具体的には TOEFL540点を達成基準とする。

このゴールに向かって年毎に事業を進めていく。

[今後について]

契約満了につき、Class2の契約について続行するかどうかの判断を2007年夏に行う。対象の孤児院である、Hope Of Children Center(旧ノリア孤児院)の新施設への引越しや運営状況の変化と、当会の英語教育支援の必要性との兼ね合いを考えていく。